

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成27年3月 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ タケエダガックフルサトカッセイカキョウギカイ
 団体名 竹枝学区ふるさと活性化協議会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	竹枝・生きものの里プロジェクト
事業実施区域(小学校区)	竹枝小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 8回目 (2006 年度から)
事業の目的	竹枝地域では「子ども達にふるさとを伝えたい。」「ふるさとへの愛着と誇りを持って育てほしい。」との思いから、地域住民と小学校が協働して、自然体験活動・環境教育・環境保全活動に取り組んでいます。取組みが評価され、2008年、小学校前の旭川が国交省・環境省・文科省連携事業の「子どもの水辺」に、小学校区全体が岡山市の「身近な生きものの里」に認定されました。また、竹枝小学校はユネスコスクール、地域協働学校として小規模校ならではの特色ある学校づくりに取り組んでいます。 取組みを通して、「竹枝地域で子育てしたい。」と移住定住する家族が現れています。子どもが増えれば地域が元気になります。未来への展望が開けます。これまでの取組みを「竹枝・生きものの里プロジェクト」として継続し、地域と小学校の魅力を高めて、地域の活性化、小学校の存続につなげていきたい、ふるさとを守りたいと考えています。
事業の必要性	「生きものの里づくり」のためには、自然の現状、変化をモニタリングすることが必要です。旭川は、地域住民にとって「ふるさとの川」です。かつての子ども達は旭川で遊んで育ちました。竹枝小学校の校歌にも「朝日輝く旭川、清い流れを窓に見て・・・」とあります。しかし、今の子どもとその親には旭川で遊んだ体験がありません。子ども達に川遊びの楽しさを伝えたい、親にもその魅力を知ってほしいと考えました。そのために、水辺に近づけなくなっていた河原の草刈りを行い、2006年、「旭川かいぼり調査」を始めました。これまで7回、継続実施しています。 「かいぼり調査」は竹枝小学校前の旭川の分流部をせき止め、減水した川の中で淡水魚などの水生生物の生息状況を調査するものです。岡山理科大学などの研究者の協力も得て、子どもからお年寄りまでが参加できる、全国的にもユニークな「市民参加型調査」です。毎回、400名前後の参加があります。学生も含め半数以上が地域外からの参加者で、都市と農村の交流の場にもなっています。このように、「竹枝・生きものの里プロジェクト」において、「かいぼり調査」は、住民自身が地域の魅力を再発見し、その魅力を広く発信する重要な事業となっています。 また、「かいぼり調査」の結果は、年度末に開催する「生きものの里づくり発表会」で報告し、その成果を次年度の調査・保全・活用事業に活かすようにしています。

事業の内容	○旭川河川敷の保全管理（10月下旬） ・かいぼり調査に向けての河川敷の草刈り等 ○旭川かいぼり調査（11月1日） ・市民参加型生きもの調査、市民・大学・NPO・行政などによる協働 ○生きものの里づくり発表会（2月末） ・生きものの里づくりをテーマとした発表会、調査結果の報告など ○活動報告書の発行（3月末） ・かいぼり調査を含めた活動報告書の編集発行、竹枝学区全世帯、関係者に配布
期待される成果	○ふるさと再発見 ○地域のチカラの結集、キズナの強化 ○都市住民との交流 ○応援団とのつながり強化、拡大 ○川の自然再生のためのデータ、知見の蓄積 ○ふるさとの魅力の発信 ○竹枝ファンの開拓、移住定住の促進、地域の活性化
企画などの工夫	○岡山理科大学、岡山淡水魚研究会、岡山野生生物調査会、岡山の自然を守る会、おかやま環境ネットワーク、旭川流域ネットワーク、旭川南部漁協、岡山県内水面漁連、公民館など、多様な主体の協力を得て、市民・NPO・行政による協働事業として計画しています。 ○採取した淡水魚などは水槽展示し、研究者が解説します。 ○協働団体によるパネル展示のコーナーを設けます。 ○調査参加者に旭川の恵みを味わってもらおうと、建部町観光公社の協力により、川ガニ、寒バエ、アユ等の郷土料理の販売を行います。 ○調査・展示・食体験など全体を通じ、この日だけの「旭川ミュージアム」にしたい。
事業の情報公開	○建部町内については、全世帯に案内チラシを配布。地域協働学校を構成する建部中学校、建部小学校、福渡小学校、竹枝小学校を通じて児童生徒・保護者の参加者を募集する。 ○岡山市の広報誌、各種マスコミを通じて広く参加者を募集する。 ○岡山市内の全公民館に案内チラシを置いて参加を呼び掛けてもらう。 ○おかやま環境ネットワークなど、協働団体の行事で案内チラシを配布してもらう。 ○竹枝小学校のホームページ、フェイスブックなど、インターネットを活用し情報発信する。 ○活動報告書を発行し、地域住民及び関係者に配布する。
次年度以降の予定	身近な自然は人が手をかけつづけないと守れません。生きものの里づくりの3原則は、「調査」「保全」「活用」です。継続することで新たな知見が得られ、新たな取組みが広がっていくものと考えています。本事業の継続が基本です。
その他PRしたい点	竹枝地域は、「子ども達にふるさとを伝えたい」との思いから、恵まれた自然を保全活用して、地域の活性化、特色ある学校づくりにつなげようとして取り組んで来ました。その結果、岡山市が推進しているESD活動としても高い評価をいただいています。 「旭川かいぼり調査」は、全国的にみてもユニークで、単に竹枝地域の取組みにとどまらず岡山市の魅力を全国に発信する取組みの1つになるものだと考えています。 多くの方に参加いただいて、ともに学び、交流し、その魅力を体感してもらいたい。そして、「ふるさとを伝えたい」という私たちの思いを応援していただければ幸いです。

[illegible][illegible]